

災害遺児支援で 市の基金へ10万円寄付

札空衛



札幌空調衛生工業業協
会は14日、市子ども未来
局に災害遺児基金への寄
付として10万円の目録を
手渡し、感謝状を受け取
った。

感謝状を受け取った池田
会長(左)

2008年に市立病院
に車いす10台を寄贈し
て以来、市の緑化事業や
円山動物園へ毎年寄付
している。災害遺児基金
へは13年度に続き2回
目。

親を失う子どもがいるこ
とから、同基金への寄付
を決めた。

建設業界でも現場に向
かう途中交通事故に遭い
死亡するケースがあり、

岸光右局長は「交通事
故で親を失った子ども
生活支援に使いたい。大
変ありがたい寄付」と感
謝し、池田薫会長(池田
煖房工業)は「子どもの
育つ環境を整えることに
役立ててほしい」と話し
ていた。

子どもの健全育成の一助に

札空衛、2年連続

災害遺児基金に10万円寄附

「次代を担う児童の健全育成に大きく寄与するものであり、深く感謝の意を表す」。社会貢献活動を事業計画の重点事項に掲げている一般社団法人札幌空衛衛生工事業協会（池田薫会

長）は、年連続で災害遺児基金に寄附。上田文雄札幌市長から感謝状が送られた。交通事故等で親を失った子供たちに役立てたいと、1万円を寄附。これに対する感謝状の贈呈式が大通バスケ

ンタービルで行われ、岸光石子ども未来局長が池田会長に市長感謝状を贈呈した。石狩浜のごみ拾いビーチウォークに6年連続で参加するなど社会貢献活動に力を注いでいる同協会は、二



岸局長（右）と記念撮影する池田会長（左）

十年から札幌市に対し寄附を行っており、寄附も今回が六回目。昨年は理事全員の総意で初の災害遺児基金への寄付となり今年で二年連続。池田会長が岸局長に金一封の目録を手渡し、里中雅幸・大谷美喜夫両副会長や佐橋光好常任理事、太田正則理事、高清水信彦専務理事が同席する中、岸局長が池田会長に感謝状を贈呈した。

岸局長は統計的には一人親家庭の所得は低く、高校無償はあるものの就学費用は学費だけではなく、その部分の支援が必要で自立するためには教育が大事との考えを示し、「交通事故等で親を失った子供の育英資金として有効に使わせていただきたい」と謝意を示し、継続的な寄附を要請。池田会長も「交通遺児等が立派に成長し、我々業界に来ていただければ」と寄附の効果発揮に期待を寄せた。